

概要

- 介護ロボットの開発・普及に向けて、①介護施設等（ニーズ側）・開発企業等（シーズ側）の一元的な相談窓口の設置、②リビングラボのネットワークの構築、③介護現場における実証フィールドを整備し、介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームを構築し、開発や普及の各段階で必要な支援を行い、介護ロボットの開発・普及の加速化を図る。

着想段階

開発段階

普及・活用段階

現場のニーズを踏まえた介護ロボット開発の提案を取りまとめ

実証の協力施設の紹介

現場導入前の先行実証
専門的な技術的助言

大規模実証の支援

活用方法の助言

試用貸出

フォーラム等の情報発信

効果的活用のモデル事業の実施

大規模実証の支援

介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム

①ニーズ・シーズの一元的な相談窓口（地域拠点）

- 各地域にニーズ側・シーズ側双方からの相談を受け付ける一元的な相談窓口を設置し、個々の相談に対して、以下の支援を実施。

<ニーズ側> 普及・活用段階

- ・介護ロボットの紹介や活用方法の助言、試用貸出、常設展示
- ・介護ロボットの普及を目的とした情報発信（フォーラムの開催等）

<ニーズ・シーズの共同による開発支援> 着想段階

- ・ニーズ・シーズ連携協調の協議会の設置
- ※介護現場と開発企業の共同で介護ロボットを構想し、開発着想段階から介護現場のニーズを反映

<シーズ側> 開発段階 普及・活用段階

- ・開発実証費用に係る補助金等の紹介
- ・個別の開発企業に対しての実証に協力する介護施設等の紹介
- ※開発コンセプトの段階から、介護現場と開発企業の意見交換の場の提供や有識者によるアドバイス等を併せて実施
- ・リビングラボのネットワークを介した開発・実証の助言や大規模実証の斡旋

②リビングラボネットワーク－実証のアドバイザーボード兼先行実証フィールド－ 開発段階 普及・活用段階

- 介護ロボットの開発・実証を支援するため、リビングラボのネットワークを構築し、以下の支援やモデル事業を実施。

- ・機器に対する安全性や利用効果の科学的な実証（現場導入前の先行実証）
- ・個別の機器や大規模実証における実証方法やデータ分析の専門的な技術的助言
- ・介護ロボットを活用した業務改善に係るモデル事業の実施
- ※介護ロボット等を効果的に組み合わせることで活用することにより、人員配置の効率化を目指す等のモデル事業を実施。

③介護現場における実証フィールドの整備 開発段階 普及・活用段階

- 開発企業等が介護現場での大規模実証を円滑に実施できるよう、大規模実証に協力する介護施設を確保。
- ※開発企業等による実証から得られた介護ロボットの利用効果に関するエビデンスデータを蓄積。